

ひろしまオペラルネッサンス

令和9年度 ひろしまオペラルネッサンス公演

G.ドニゼッティ作曲 『愛の妙薬』

キャスト募集要項



令和8年度オペラ公演「ファルスタッフ」より

ひろしまオペラ・音楽推進委員会

令和9年度 ひろしまオペラルネッサンス公演
G.ドニゼッティ作曲『愛の妙薬』〔全2幕、イタリア語上演、日本語字幕付〕
キャスト募集要項

広島市では、「ひろしまオペラ・音楽推進委員会」を組織し、平成4年度から「ひろしまオペラルネッサンス」事業に取り組んできました。これまでに、新作オペラや著名なオペラ作品の制作・上演を中心に、人材育成としての研修や在広オペラ団体の定期公演の支援、専属合唱団の運営など多彩な事業を展開し、「オペラのまち広島」を目指しています。

1 開催趣旨

芸術監督に岩田達宗氏、指揮に園田隆一郎氏、演出に栗國淳氏、一流のスタッフを迎え、中四国地方唯一のプロオーケストラであるく広島交響楽団と全国オーディションで選考された歌手などにより、ドニゼッティの人気作である「愛の妙薬」を上演し、歌手たちの一層のレベルアップとファン層の拡大を図り、「ひろしまオペラルネッサンス」事業のさらなる飛躍を目指します。

2 オーディション概要

(1) 日 時 令和9年4月11日（日）（時間は募集締切後に連絡いたします。）

(2) 会 場 JMS アステールプラザ（広島市中区加古町4-17）

(3) 受験資格 次の稽古及び本番に参加できる人。（無断欠席・遅刻は認められません。）

5月～ コレパティ稽古（個別にスケジュールを調整します。）
6月～ 音楽稽古（個別にスケジュールを調整します。）
6月7日（月）、8日（火）指揮者音楽稽古
7月24日（土）、25日（日）指揮者音楽稽古
7月28日（水）～ 立ち稽古
8月24日（火）、25日（水）オーケストラ合わせ、26日（木）、27日（金）場当たり・ゲネプロ
8月28日（土）、29日（日）本番

(4) 募集キャスト

アディーナ（S）、ネモリーノ（T）、ベルコーレ（Br）、ドゥルカマーラ（Bs）、ジャンネッタ（S）

※オーディションの結果、希望役以外の役柄に変更をお願いすることがあります。

(5) 受験方法

- ① 第1希望役の課題曲〔別紙課題曲のとおり〕の中から、原語（イタリア語）で歌唱していただきます。
- ② 暗譜の必要はありません。課題曲以外の箇所を歌唱していただく場合もあります。
- ③ 演奏開始箇所は、課題曲直前の適宜な箇所から開始してください。
- ④ 他者のパートは、ピアノ伴奏者が対応してください。
- ⑤ ピアノ伴奏者は、受験者が手配してください。
- ⑥ 受験順は、申し込みの順番に関係なく主催者が決定し、通知します。

(6) 課題曲〔使用楽譜：『L'elisir d'amore』 Ricordi 版ヴォーカルスコア〕

(7) 審査

次の審査員により、歌唱力やキャラクターなどを総合的に審査します。

岩田達宗（芸術監督）、園田隆一郎（指揮）、栗國淳（演出）、広島交響楽団 事務局長

(8) 審査結果

オーディション翌日（令和9年4月12日（月））12：00にJMSアステールプラザ掲示板に掲出するとともに、アステールプラザ web サイトにて発表します。

また、受験者全員に郵送で可否の通知をします。（電話での問い合わせには応じません）

3 応募方法

【郵送・持参】

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、写真を貼付し、令和9年3月6日（土）【必着】までに
ひろしまオペラ・音楽推進委員会事務局へ郵送又は持参してください。

※申込書は、必ず A4用紙 1 枚に収めてください。（別紙資料等は不可）

【E メール】

下記 URL より申込書をダウンロードし、情報を入力の上、令和9年3月6日（土）23:59までに
申込メールアドレスに送信してください。

- ・キャストオーディション URL <http://h-culture.jp/opera/renaissance/event3/entry-3384.html>
- ・申込先メールアドレス naka-cs@cf.city.hiroshima.jp

【メール提出時の注意事項】

- ・申込書は、必ず A4用紙 1 枚に収めてください。（別紙資料等は不可）
- ・写真は別途添付ファイルでお送りください。（申込書に貼り付ける必要はありません。）
- ・文字サイズを変更することはかまいませんが、小さすぎると見えにくくなるので注意してください。
- ・メール送信の際は、件名に「オペラキャストオーディション申込」と記載し、本文にも氏名及び連絡先をご記入ください。
- ・メールの着信を確認次第、受信確認のメールを返信いたしますが、提出から 5 日経っても返信が無い場合は必ずお問い合わせください。応募締切日(3/6)を過ぎて返信が無い場合も、すぐにご連絡ください。

4 必要経費

オーディションにかかる経費(交通費、宿泊費、食費)は受験者の負担となります。

5 その他

- (1) 全役ダブルキャストでの募集とします。
- (2) オーディションに合格された方へは、当委員会の規定に定める額の出演謝礼金をお支払いします。
- (3) 稽古及び公演にかかる経費(交通費、宿泊費、食費)は各自の負担となります。
- (4) 出演謝礼金は公演終了後にお支払いします。ただし、稽古への参加状況が悪い等稽古に支障をきたす場合は、出演の取消または謝礼金の減額をすることがあります。
- (5) チケットノルマはありませんが、できる限りチケットの販売にご協力をお願いします。
- (6) オーディションで該当者がいない場合は、委員会で別途人選します。

申し込み・問い合わせ

〒730-0812 広島市中区加古町 4-17JMS アステールプラザ内
ひろしまオペラ・音楽推進委員会事務局
Tel:082(244)8000 Fax:082(246)5808
E-mail:naka-cs@cf.city.hiroshima.jp

オペラマスタークラス開催決定！

「ベルカント」に特化した講習/稽古を受けることができるワークショップです。（愛の妙薬、他）特化した稽古だけではなく、オペラに必要な基本的な知識、技術についての講義とレッスンも行います。

〈開催時期〉2027年7月末～（6日間予定）

〈受講資格〉キャストオーディション参加者、「愛の妙薬」合唱参加者

〈参加費〉無料（参加に伴う交通費、宿泊費は自己負担となります）

〈お申し込み方法〉キャストオーディション募集締め切り後別途ご案内をお送りいたします。

令和9年度 ひろしまオペラルネッサンス公演 概要（予定）

- 1 作 品 G.ドニゼッティ『愛の妙薬』〔全2幕、イタリア語上演、日本語字幕付〕
2 公 演 日 時 2027年8月28日（土）・29日（日）
3 会 場 JMS アステールプラザ 大ホール
4 主 催 ひろしまオペラ・音楽推進委員会、広島市、（公財）広島市文化財団 アステールプラザ
5 料 金 SS席 8,000円 S席 6,500円 A席 5,000円 B席 3,500円
学生券 2,000円（学生券は当日のみ販売）
6 主なスタッフ 芸術監督：岩田達宗、指揮：園田隆一郎、演出：栗國淳、
副指揮・マスト・リシティット：平野満

■ 指揮 園田隆一郎



©Tomoko Hidaki

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間《トスカ》を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル《ランスへの旅》を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランドース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカ・ナ管弦楽団、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。

2026年は3月に藤沢市民会館ラスト・コンサートとして開催された《ランスへの旅》をはじめ、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》、長野市芸術館開館10周年記念公演「カルミナ・ブラーナ」、日本フィル夏休みコンサート、パシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会、第30回京都の秋音楽祭 開会記念コンサート＜マラー「復活」＞、2027年2月には神奈川県内オペラ展開シリーズ Vol.2《絹のはしご》、3月にはびわ湖ホール オペラへの招待《フィレンツェの麦わら帽子》へ出演を予定している。2004年シエナ・ロータリークラブ カルロ・コルシーニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度 第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞の各賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。

■ 演出 栗國 淳



ポール歌劇場『ホフマン物語』を演出。

現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所プログラムアドバイザー兼アルテ・シェニカ講師。エクソンモービル音楽賞奨励賞受賞。

- 7 管 弦 楽 広島交響楽団
8 合 唱 ひろしまオペラルネッサンス合唱団
9 制作日程(予定) ①コレペティ稽古（5月～）、②音楽稽古（6月～）、③立ち稽古（7月28日～）

【JMS アステールプラザまでの交通のご案内】

JR広島駅から

《市内電車》

①広島港行（紙屋町経由）一市役所前下車（600m）

②江波行一舟入町下車（400m）

《市内バス》

広島バス24号線 吉島営業所行又は
吉島病院行一加古町下車（200m）

《タクシー》

約15分

課題箇所

Ricordi 版 ヴォーカルスコア(P.ページ数 - 段数 - 小節数)

Adina アディーナ (ソプラノ)

1. "Appena ei bevve un sorso"(p.18-3-2) ~ "conoscessi chi ti fa!"(p.24-1-3)
2. "Odimi. Tu sei buono,"(p.47-4-2) ~ "e infedel."(p.49-1-2)
3. "Per guarir di tal pazzia,"(p.51-1-3) ~ "ho sciolto il cor."(p.51-最終小節)
4. Aria "Prendi,"(p.234-2-3) ~ "così."(p.236-1-1)
5. "lo bramo."(p.239-2-1) ~ "eterno amor."(p.244-1-4)
※p.240-4-3 まで歌唱されたら p.242-4-3 へ進んでください(p.240-4-4 から p.242-4-2 までをカット)。

Giannetta ジャンネッタ (メゾ・ソプラノ)

1. "fortunato"(p.6-1-2) ~ "fortunato!"(p.8-2-6)
2. "Vedete un po'"(p.125-1-3) ~ "boccon per te."(p.130-最終小節)
3. "Non fate strepito,"(p.180-2-1) ~ "zitte... piano."(p.183-3-1)
4. "Caro quel Nemorino!.."(p.189-1-2) ~ "Venite." (p.196-2-3)
5. "(Di tutti gli uomini"(p.202-2-1) ~ "un osso duro da rosicar,"(p.204-2-1-1 拍目)

Nemorino ネモリーノ (テノール)

1. Cavatina "Quanto è bella"(p.8 ~ p.10-2-2)
※Cavatina 終盤の Cadenza は、楽譜に記載以外の Cadenza も可。
2. "Obbligato,"(p.78-2-3) ~ "benedetto chi ti fa!"(p.80-3-3)
3. "Ah! dottor,"(p.89-4-1) ~ "ha costui condotto qua.)(p.94-3-1)
4. "(Ai perigli della guerra"(p.166-5-1) ~ "solo un giorno trionfar.)(p.168-1-1)
5. Romanza "Una furtiva lagrima"(p.229) ~ "Io v'odo, Adina."(p.233-3-1)
※Romanza 終盤の Cadenza は、楽譜に記載以外の Cadenza も可。

Belcore ベルコーレ (バリトン、バス)

1. Cavatina "Come Paride vezzoso"(p.26 ~ p.29-2-2)

※Cavatina 終盤の Cadenza は、楽譜に記載以外の Cadenza も可。

2. "Più tempo, oh Dio, non perdere:"(p.31-1-2) ~ "non puoi scappar."(p.31-5-4)

3. Recitativo "Intanto, o mia ragazza,"(p.45) ~ "(Io son già della famiglia.)"(p.46)

4. "Ah! oh gioia!"(p.110-2-3) ~ "lo piglio a scopole."(p.112-3-3)

5. "Del tamburo al suon vivace,"(p.168-1-1) ~ "il militar."(p.171-1-3)

6. "Qua la mano, giovinotto,"(p.172-2-3) ~ "anche questa è da contar."(p.174-1-1)

Dulcamara ドゥルカマーラ (バリトン、バス)

1. Cavatina "Udite,"(p.61 ~ p.75)

2. "(Nel paese che ho girato"(p.78-4-2) ~ "doman sospirerà."(p.86-4-1)

3. "Io son ricco"(p.156-2-6) ~ "fa felice un senator."(p.157-2-1)

4. Recitativo "La lode è mia."(p.213) ~ "si fè soldato."(p.214-5-3)

5. "(Essa pure è innamorata,"(p.216-2-2) ~ "che il tuo mal guarir potrà."(p.219-最終小節)